



令和7年度 高雄日本人学校

# 愛河

校訓 「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子



学校だより 6月号

令和7年5月29日

文責 校長 堀山 知基

## 授業参観、懇談会へのご参加ありがとうございました

5月3日(土)、授業参観並びに学級懇談会を開催いたしましたところ、小・中学部のべ83名の保護者の皆様にご来校いただきました。誠にありがとうございました。さて、学習に臨む児童生徒の様子は、保護者の皆様にはどのように映ったでしょうか。子供たちは、保護者の方に学習の様子を見てもらえる嬉しさと恥ずかしさが入り混じり、やや緊張した様子があったようですが、しっかりと学習に取り組んでいることを感じ取っていただけたことと思います。

また、後日、保護者の皆様には、授業参観・懇談会に係るアンケートへの記入をお願いいたしました。その回答の中には、「子どもの学校での様子を見ることができて安心しました。」「生徒一人一人に目を向けて授業を行って頂いている様に感じます。」「全員参加型の授業でとても子供にとって勉強になる。」「家庭での本人の様子を先生へ知ってもらえる機会になってよかった。」などと、保護者の皆様から多くのお褒めの言葉を頂戴いたしました。これらの言葉は、私たち職員にとって何よりの励みとなります。今後もご家庭との信頼関係を築き、分かりやすい授業づくりに向けて、職員一丸となって推進してまいります。引き続き、本校への教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 前期児童生徒総会を開催しました

16日(金)、前期児童生徒総会を開催しました。児童生徒総会は、各委員会が活動計画や活動の方針を説明し、それに対して出席者が質疑応答を行うことを通して、児童生徒自らの手でより良い学校生活を実現していくために行われる大変重要な会です。子供たちはこの目的を十分に理解し、各委員会は説明原稿をしっかりと準備するなどして、生徒総会に臨むことができていました。初めて参加した5年生も意欲的に発言するなど、自分たちの学校づくりに積極的に関わろうとする姿が大変立派でした。

前期児童生徒総会の後は、日常的に行われる常時活動がスタートしています。自分たちの行動計画を確実に実践し、児童生徒の自治的な活動による「自分たちの学校づくり」が推進していくことを期待しています。



## 避難訓練・引渡し訓練を実施しました

先週19日(月)、日本人学校校舎内に不審者が侵入した想定の下、避難訓練及び引渡し訓練を実施いたしました。保護者の皆様のご協力で、スムーズにお引渡しすることができました。誠にありがとうございました。

これまで日本国内の各地において、不審者の学校敷地内への侵入事件は度々発生しており、その中には児童生徒の尊い命が奪われるという決して許すことのできない事件に至るケースもありました。不審者の侵入事件は、いつどこで発生しても不思議ではありません。私たち高雄日本人学校の職員は、もしもの場合に備えて、日頃から危機管理意識を高くもち、子供たちの命を守るための対策を推進してまいります。今後とも、保護者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、「自分の命を自分で確実に守る」ことは、学校内だけでなく、校外での生活の中でも求められることです。それは、治安のよい台湾でも意識する必要があります。台湾の警察当局発表の統計(2021年)によると、刑法犯認知件数は22万4,387件と、人口10万人当たりの刑法犯認知件数は日本の約2.1倍になっているとのこと。ご家庭においても、海外で安全に生活することについて話題に取り上げていただくとともに、自分の身を守る行動の在り方について、お互いに意識を高めてまいりましょう。

【参考】 台湾・安全対策基礎データ → [https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_008.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_008.html)